

国鉄時代のトンネルを無償で譲渡、佐賀県で鉄道・運輸機構

2009/10/15

(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構の国鉄清算事業西日本支社は、同機構が管理している佐賀県内のトンネルの譲渡先を募集している。旧呼子(よぶこ)線を通すために建設したトンネル11本のうちの4本を、適切に管理することを条件に無償で譲渡する。



第2西唐津トンネルの坑口。トンネルの長さは約1.3km、坑内の高さは最大5.6m、幅は最大4.8m。坑口までの距離は国道204号から約400m(写真:下の3点も鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

旧呼子線は、旧日本国有鉄道(旧国鉄)が佐賀県唐津市に計画した路線。西唐津駅と呼子駅を結ぶ路線として1968年から旧日本鉄道建設公団が工事を始めたが、採算が見込めず1980年に建設を中止した。利用を開始する前に鉄道の敷設を中止したので、トンネルは未使用の状態。いずれも、坑口に門扉を設けている。

1本単位でそれぞれ譲渡する。トンネルの一部を譲渡することは考えていない。譲渡するのはトンネルだけで、トンネルが貫通する山などには、それぞれ地権者が存在する。このた

め、国道などからトンネルの坑口までの進入路は、利用者が地権者と協議して確保する必要がある。

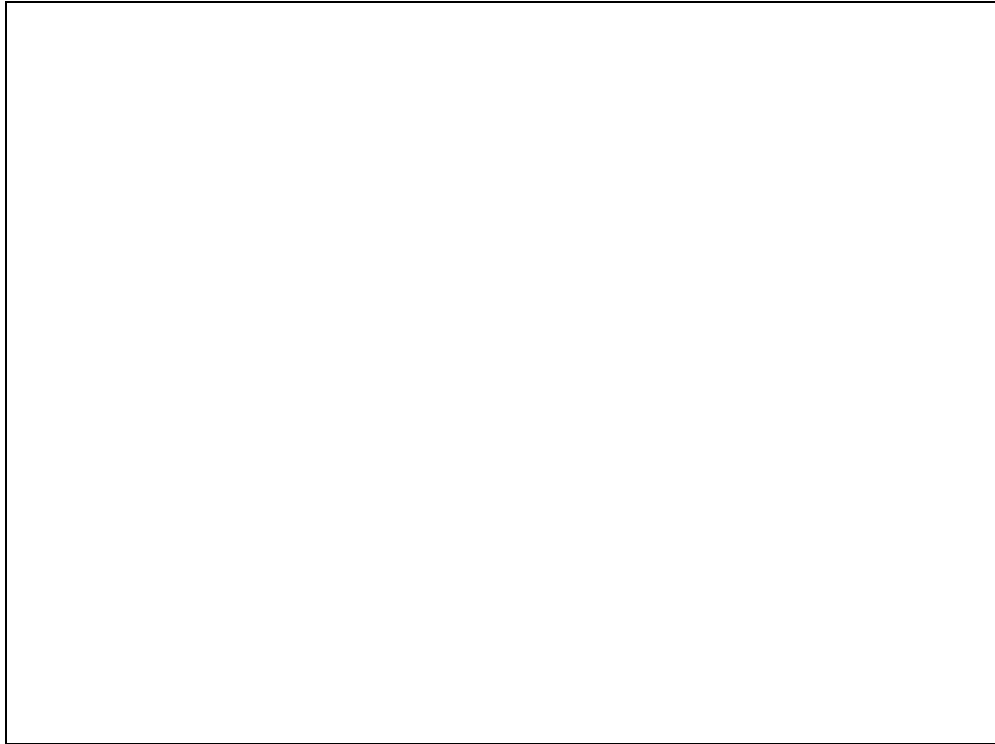
譲渡先を募集しているトンネルは、すべて佐賀県唐津市内に位置する。長さ約 1.3km の「第 2 西唐津トンネル」と同 920m の「第 3 湊（みなと）トンネル」、同 280m の「相賀（おうが）トンネル」、同 73m の「鳩川トンネル」の 4 本だ。このうち、鳩川トンネルには、10 月 13 日までに利用の申し込みがあったという。



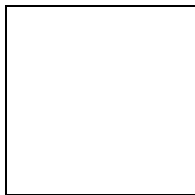
第 3 湊トンネルの坑口。トンネルの長さは約 920m、坑内の高さは最大 5.7m、幅は最大 4.8m。坑口までの距離は国道 204 号から約 600m

同機構の国鉄清算事業西日本支社によれば、これまで旧呼子線の 11 本のトンネルのうち、7 本は譲渡済み。譲渡先には、**佐賀県の土木事務所**も名を連ねる。同土木事務所はトンネルを資材の置き場に活用している。このほか、味噌（みそ）を貯蔵している譲渡先もあり、年間を通して温度や湿度が安定した坑内を利用しているようだという。

山崎 一邦 = フリーライター [日経コンストラクション]



相賀トンネルの坑口。トンネルの長さは280m、坑内の高さは最大5.3m、幅は最大4.8m。坑口までの距離は国道204号から約200m



鳩川トンネルの坑口。トンネルの長さは約73m、坑内の高さは最大5.3m、幅は最大4.8m。坑口までの距離は国道204号から約200m。10月13日までに利用の申し込みがあった